きょう 池田 市満50歳

昭和14年4月29日 に市制施行

今月のアポット

昭和十四年四月二十九日、池田市は、大阪府下六番目の市として誕生しました。市制施行を祝った学童の旗行列など市内は祝賀ムードにつつまれました。半世紀後の今日、池田市は満五十歳の誕生日を迎えました。

これを記念して、記念式典や記念講演など、各種事業（現在）を行います。

五十年の歩み（過去）をふり返り、二十一世紀をめざす新総合計画を策定（未来）し、「うるおいのある文化創造都市」をめざして新たに出発します。

市制施行五十周年記念 式典、講演会を開催

記念式典は、午前十時から市民文化会館で行われます。

式典では、姉妹都市の蘇・州市やローンセストン市や友好都市の中国・蘇州市をはじめ、国内での姉妹縁組都市の代表の方々などを招き、池田市五十歳の誕生日と新たなまちづくりへの出発を祝います。

また、永年にわたり市政の発展に貢献された方々、および団体に感謝状を贈ります。

午後二時からは、遠藤周作氏を講師に「私の考え方」と題して記念講演会を開催します。

都市緑化植物園がオープン

温室はすでに完成

市制施行五十周年事業として、五月十二日、五月山都市緑化植物園がオープンします。

同植物園は、五月丘小学校北側の五月山公園の一角にあり、五月山児童文化センターをその区域に含み、全域で約五・二㌶です。

この植物園は、家庭で庭づくりをしたり、緑を育てるために必要な情報の提供や指導を行っています。同園には、緑の総合案内センター」、身近な植物を展示したいろいろな見本園、四月二十八日に完成した熱帯性の果樹や花を集めた温室（写真）などがあります。

「緑のセンター」では、緑に関する展示を常設しています。

緑の相談コーナーでは、週四回、専門の相談員が家庭園芸に関する相談に応じるほか、図鑑や園芸書、自然観察指導書などを自由に見ることができます。

二階の会議室では、園芸教室や押し花教室、折紙教室などを毎月開催しています。

センターの横に建設された温室にはベゴニア室が設けられ、球根ベゴニアなどが色鮮やかな花を咲かせています。

身近な植物を集めた植物見本園には、サツキ・ツツジ、生垣、コニファー（針葉樹）、実のなる木、などの見本園があり、庭づくりなどの参考にできます。

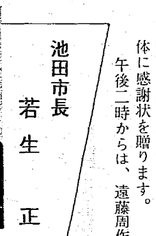
植物園では一年を通して季節の花を楽しめます。

ぜひ、ご来園ください。

◎緑のセンター利用案内

▽開館時間 午前九時から午後五時。毎週火曜日休館。▽会議室、展示ギャラリーは、緑に関した行事、会議などにご利用ください。▽申込み、問合せは同センター（52・7082）へ。

なお、同植物園の管理は、本年度新設立の㈶池田市公共施設管理公社に委託、市民サービスの向上に努めます。



池田市長 若生 正

池田市は本日、市制施行五十周年を迎えました。

池田市の歩んだ半世紀は、豊かな自然環境と先人のたゆまぬ努力により、都市施設の整備された魅力ある都市への発展の五十年であったと思います。

そしていま、私たちはまちづくりの大きな節目を迎えています。

・五十周年と時を同じくして、まちづくりの指針である新しい総合計画がスタートしました。

その目標は、「緑の五月山と猪名川の流れにはぐくまれた、うるおいのある文化創造都市」です。

この、すばらしい郷土・池田を、こども達にひきつぎ、二十一世紀にむけてさらに大きく飛躍させるため、新しい一歩を市民の皆様とともに、本日、ふみだしたいと考えています。

池田市議会議長 高木龍男

市制施行五十周年を祝し、心からお慶び申し上げます。

本市が今日のように、歴史と伝統のある都市として発展してまいりましたことは、先人のご功績と市民の皆様のご理解によるものと、まずここに深甚なる敬意を表しますとともに感謝申し上げる次第であります。

さて本市では、二十一世紀に向け、ゆとりとうるおいのある快適なまちづくりに取り組んでおります。

市議会といたしましては、市民の信託にこたえるため、今後とも努力してまいる所存でありますので、どうかより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

市民の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしましてお祝いのことばといたします。

人口の推移

昭和14年	35,494人
20	40,914
25	45,177
30	50,853
35	58,378
40	83,529
45	93,649
50	98,751
55	101,065
60	100,924
平成元年	103,144

現在 市制施行50周年記念行事 (4/29～5/31)

日	行事名	場所	内容
29(土)～30(日)	切手展	池田郵便局	池田箕面郵趣会が日本、中国、オーストラリアの切手を展示
29(土)～5/7(日)	あの頃、この頃、いつの頃	市民文化会館	写真で綴る池田50年
4～6月(日曜日)	市民総体・軟式野球	猪名川運動場	一般男子A・B・Cトーナメント戦
5/4(木)	ベートーヴェン第九演奏会	市民文化会館	演奏・大阪フィルハーモニー交響楽団、指揮・手塚幸紀、無料
5(土)～14(日)	市美術展	中央公民館	絵画・書の部に加えて、写真・彫刻の部を新設
6(土)・7(日)	市民総体・バドミントン	スポーツセンター	ジュニアA・B、一般男女A・B初心者及び50歳以上の男女
7(日)	五月山春のフェスティバル	五月山公園	森脇健児・山田雅人の大ジャンケン大会など
10(水)	文化サロン	生涯教育センター	「心の輝きは健康のサイン」講師・佐藤和子
12(金)～6/12(月)	都市緑化植物園開園花と緑のふれあい展	都市緑化植物園	開園式(12日)と、緑のパネル展児童画展、緑のクイズなど
5～6月(日曜日)	市民総体・サッカー	猪名川運動場	予選リーグ後のトーナメント戦
14(日)・21(日)	市民総体・テニス	テニスコート	一般男女混合ダブルス(5月6日締切り)
19(金)	「こころ」のシンポジウム	市民文化会館	青年会議所主催 ～今こそ見つめ直そう家庭教育～
19(金)～21(日)	お茶といけばな展	中央公民館	茶華道連盟主催
28(日)	市民総体・卓球	市民体育館	男女一、二部(トーナメント戦)
28(日)	民謡コンクール	市民文化会館	民謡協会主催
28(日)	ドッジボール大会	池田中学校	市こども会育成連絡協議会主催
31(水)～6/7(水)	皐月会花季展示全国大会	市役所周辺	全国から数多くの皐月盆栽が出展、名花、名木の日本一を競う

未来

◇21世紀をめざして◇ 新総合計画できる

うるおいのある文化創造都市へ

市は、市制施行五十周年を契機に、二十一世紀をめざしたまちづくりを進めるために、「池田市新総合計画」を策定しました。

新総合計画は、本年三月に市議会で議決されたもので、平成十二年の人口を十一万五千人とし、「緑の五月山と猪名川の流れにはぐくまれたうるおいのある文化創造都市」を将来都市像としています。

今後、この計画を指針として、みなさんのご協力を得ながらまちづくりを進めることにしています。

――本年度を初年度とする十二カ年計画――

この計画は、平成元年度から同十二年、すなわち西暦二千年を目標とする十二カ年計画です。

――西暦二千年の人口は十一万五千人――

本市の人口は、現在、約十万三千人ですが、昭和五十年以降、人口の伸びはゆるやかになっています。

計画では、平成七年の人口を十一万三千人、目標年次の平成十二年（西暦二千年）で、十一万五千人と推定しています。

――「緑と歴史の回廊づくり構想」など、まちづくりの基本的な課題を設定――

今回の計画は、二十一世紀を展望した、よりよいまちづくりを進めるために、

○都市核と都市軸の確立

○大阪国際空港の存続と周辺の整備

○緑と歴史の回廊づくり構想の推進

○高齢化社会に対応したまちづくり

○生涯教育の推進と生涯学習体制の振興

○文化的な都市環境の創出

の六項目を課題としてあげ、これらを実現するための基本的な方向を提起しています。

――「緑の五月山と猪名川の流れにはぐくまれたうるおいのある文化創造都市」を都市像に――

郷土の自然と歴史に誇りをもち、人と人とのふれあいを大切にし、うるおいのある文化創造都市の実現を目標に、次の五つのテーマを掲げ、伝統を生かした特色のあるまちづくりを進めることにしています。

○健康でやすらぎのあるまち

○文化のかおり高い心豊かなまち

○うるおいのある安全なまち

○便利で活力のあるまち

○人権の尊重と連帯感にあふれるまち

このほか、基本的な土地利用構想や五つのテーマを達成するため、行政部門別に施策を定め、二十一世紀を展望したまちづくりを進めることとしています。

※本総合計画の要約版を五月中旬までに、市内の全世帯に配布する予定です。自宅に届かない場合は、企画調整課（市役所四階、内線二三四）までご連絡ください。

作家の遠藤周作氏

池田市の誕生を告げる新聞記事

池田車庫(槻木町、24年ごろ)

ローンセストン市と姉妹都市提携

過去 50年のあゆみ

市制施行日から今日まで

昭和14年～20年

14年4月29日 市制施行、大阪府下6番目。人口は35,494人。

15年8月 市章制定。

16年6月 町内会隣組が市政の下部組織として発足。

連合町内会5、町内会52、隣組649。

19年4月 全市の町名を変更。米屋町、荒木町などの町名消える。

20年8月15日 敗戦。本市にも空襲があったが被害は小さかった。

昭和21年～30年

21年3月 消防署開設(22年3月に移管)。

5月 小学校で学校給食始まる。

22年4月 初代公選市長に武田義三氏選ばれる。

23年7月 池田市警察署発足(29年5月に府に移管)。

24年4月 市制10周年を記念して市歌を制定。

8月 猪名川花火大会始まる。

25年4月 旧市役所庁舎完成。「池田市報」発刊。

26年10月 最初の市営住宅(花園住宅)建設。

11月 市立池田病院開業。

28年6月 公共下水道事業始まる。

29年7月 市立養護院「五月寮」(後の養護老人ホーム)完成。

昭和31年～40年

32年7月 敬老年金初支給。電話が自動式になる。

10月 逸翁美術館開館。

33年4月 五月山観光道路完成。

11月 市内最初の公団・池田団地の入居始まる。

37年4月 府下のトップをきって教科書を無料配布。

8月 市立図書館開館。

38年8月 市民プール完成。

39年4月 五月山テニスコート開設。

40年4月 府道池田箕面線開通。

11月 オーストラリア・ローンセストン市と姉妹都市提携。

昭和41年～50年

41年4月 市内初の市立保育所(中央保育所)開設。

市立幼稚園の保育料を全国で初めて無料化。

42年4月 下水終末処理場完成。

43年10月 体力づくり日本一として、全国初の内閣総理大臣賞に輝く。

44年4月 市内初の共同利用施設(神田会館)できる。

45年3月 万国博開催、呉服小がオープニングパレードに参加。

46年4月 市立精神薄弱児通園施設「やまばと学園」開設。

47年7月 敬老会館開館。

48年4月 府・市合同庁舎完成。

8月 第1回市民カーニバル。

49年4月 中央公民館完成。

50年3月 市民文化会館開館。

4月 武田義三市長退任。

5月 若生正氏、11代市長に就任。

6月 少年自然の家(鳥取県青谷町)オープン。

昭和51年～59年

52年4月 コミュニティセンター完成。

10月 スポーツセンター オープン。

53年4月 医療センターオープン。

55年4月 図書館、歴史民俗資料館完成。

8月 市シルバー人材センター発足。

56年6月 中国・蘇州市と友好都市締結。

58年5月 連続立体化事業の下り線完成。

10月 新清掃工場稼動。

59年10月 生涯教育センターオープン。

阪急池田駅高架化事業完了。

昭和60年～平成元年

60年5月 精神薄弱者通所授産施設「くすのき学園」オープン。消費生活センターオープン。

6月 ステーションNオープン。

61年3月 池田駅前広場完成。

62年3月 阪神高速道路大阪池田線延伸、国道173号整備着工。

4月 サン・シティ池田オープン。

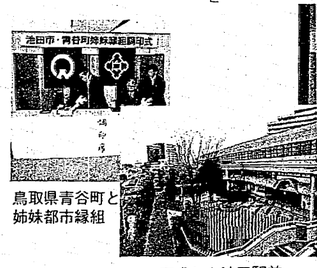
10月 緑のセンターオープン。

63年8月 全国6つの池田町と姉妹縁組。

平成元年4月 鳥取県青谷町と姉妹縁組。

第1回市民カーニバル

蘇州市と友好都市締結



完成した池田駅前

鳥取県青谷町と姉妹都市縁組